

## Circle Story of Meiji University

▶▶▶▶▶ 体同連トライアスロン部

現在、トライアスロン部に所属する選手は全員がトライアスロン初心者です。経験者は一人もいません。長い距離を走ることがなく不安な選手、競技用の自転車どころか普通の自転車に乗ったことのない選手、プールで25mを泳ぐことすらできなかった選手。「そんなにできないのによくトライアスロンを始める気になったね」と言われる選手が多いです。トライアスロンは継続のスポーツです。どんなに苦手なことでも地道に続けることで少しずつ成長を実感できます。努力した時間だけ結果に繋がると分かった時にはすでに、トライアスロンの魅力に取りつかれているでしょう。

### トライアスロンの魅力

明治大学体同連トライアスロン部は1990年に1期にあたるメンバーによって創設されました。当時は日本にやってくるばかりの新しいスポーツだったトライアスロンでしたが、現在は全国各地で大会が開催される人気スポーツとなっています。創設当初は、トライアスロンを構成する「スイム」「バイク」「ラン」のどれか一つでも楽しめれば良いという、和やかな集まりでした。それから長い月日を経て、昨年は日本学生トライアスロン選手権で団体2連覇を達成するなど、強豪チームに成長しました。しかし、高い競技レベルを維持しながらも決して楽しむことを忘れません。所属する部員一人ひとりがそれぞれの目標に向かって努力すること。バラバラなはずの個人の目標も、その達成をみんなで喜びあえる環境は、創設時からの伝統を引き継いだものに他なりません。

緊張感漂うレーススタートの瞬間



インカレで団体優勝した時の表彰式



離を走ったことがなく不安な選手、競技用の自転車どころか普通の自転車に乗ったことのない選手、プールで25mを泳ぐことすらできなかった選手。「そんなにできないのによくトライアスロンを始める気になったね」と言われる選手が多いです。トライアスロンは継続のスポーツです。どんなに苦手なことでも地道に続けることで少しずつ成長を実感できます。努力した時間だけ結果に繋がると分かった時にはすでに、トライアスロンの魅力に取りつかれているでしょう。

しかし、それを続けることは実は難しいのです。25mを泳ぐことのできなかった私は、苦手を克服するためにスイム練習ばかりしていた時期がありました。その努力の結果、十分に泳げるようになりレースでも通用するようになりました。元々得意であったはずのランが思うように走れなくなってしまう。そこで、元の実力に戻そうとランを中心に練習をすると今度はまたスイムの実力が落ちてしまったのです。トライアスロンは、三つの種目をバランスよく練習をしなければ結果を出すことができないスポーツだと実感しました。選手それぞれが得意、不

## 体同連トライアスロン部

「On your mark」この言葉の意味を知っていますか？ トライアスロンのレースはこの言葉の後に、波も風も一瞬止まったような不思議な空間が生まれます。次の瞬間、一斉に泳ぎ出す選手たち。それぞれの目標に向かって、泳いで、漕いで、走るのです。私たち体同連トライアスロン部は、最高のレースを実現するために、日々最高の準備をしています。「On your mark」の意味は、「位置について」ではないのです。私たちにとっては「最高の準備ができているか？」に聞こえるのです。その問いの後に小さくうなずくと、長いようで一瞬のトライアスロンのレースが始まります。

体同連トライアスロン部 HP: <http://mmmetal.is-mine.net/>

理工学部3年 太田 堯良 (主将)

明大  
サークル  
物語

## Circle Story of Meiji University

▶▶▶▶▶ 体同連トライアスロン部

得意とする種目はバラバラで練習のレベルも全く違います。簡単に超えることのできない才能に左右されるような壁も間違いなく存在しています。しかし、努力を続けること、考えて練習を続けることは、その才能がなくても、誰にでもできるはずで、その誰でもできるはずのここを続けるのが難しいということ、トライアスロンは教えてくれました。このことに気付けるトライアスロン部の環境は間違いなく誇れるものであります。

その環境に誇りを持つていることは間違いありませんが、ただ一点、競技を追い求める環境としては全てが整っているとは言えません。指導者が存在せず、所属する選手でメニューを考え、教え合って練習に取り組んでいます。また、専用の練習場があるわけではないので、練習内容には限りがあります。また、トライアスロン自体が金銭面の負担が大きいスポーツで、一回の遠征で3〜4万円程度を自己負担しています。その工面は練習や授業のない時間でのアルバイトが中心です。しかし、こうしたことを悲観的に捉えず、前向きなものに変換することができるからこそ、競技として結果を残すこともできる

違うスピードで走り抜けている選手のたくさんの足音が聞こえてきます。その足音を重ね合わせると、バラバラであるはずのドラマが一つの物語のように聞こえてくるのです。個人競技であるトライアスロンがチームの存在を教えてくれます。

現在、チームは日本学生トライアスロン選手権団体3連覇を目標に掲げています。学生トライアスロン界においては、まだどの大学も達成していません。今年それを達成する可能性があるのは、明治大学だけです。これがどんなに難しいかは、私たち自身が一番理解していますが、挑戦していきます。

トライアスロンの団体戦は、完走した選手上位3人の合計タイムで競われます。簡単に言ってしまうと、3人速い選手がいれば勝つことができます。しかし、私たちはチーム全員の力が表れると信じています。そのため、日本学生トライアスロン選手権に過去最多である合計20名の選手の出場を目標に掲げました。一人でも多くの選手が出場することでチームの力が高まると考えたからです。

練習は一人ではできません。サポートしてくれるマネージャー、技術を

合宿でのトレーニング風景



遊水地ふれあいトライアスロン大会

日本学生選手権大会



レース中のバイクパート

きるのです。

他の選手に技術を教えることは、根本的には自分の実力が上がる行動ではありませんが、もう一度自分を見つめなおすことに繋がります。人数が多くて狭く感じるプールでもコースロップを外し全員同時に泳ぐことで、より実践に近い感覚で泳ぐことができます。授業、練習、アルバイトなどのスケジュール管理は、自己管理そのものです。計画的な練習によって結果を出すことができるトライアスロンにとってこうした能力は大切です。

### 目標は「史上初・インカレ3連覇」

学生レースのほとんどはスイム1.5km、バイク40km、ラン10kmの合計51.5kmの距離で行われます。これはオリンピック競技と同じ距離で、「オリンピックデスタンス」と呼ばれます。ゴールするまでにかかる時間はおよそ2時間前後です。一人でゴールを目指すこの2時間のレースの中に、たくさんのドラマが存在します。優勝を目指す選手、完走を目指す選手、笑って走り抜ける選手。個人の目標は本当にバラバラですが、全く違う歩幅で、全く

教え合う仲間、そして一緒に競い合うライバルがいるから強くなれます。学生選手権に出場する選手が増えれば増えるほど、練習に欠かせないピースがそろっていきます。ジグソーパズルは全てのピースがそろっていかなくても、何が描かれているかわかることもあります。でも、それでは完成したとは言えないのです。優勝するには当然、重要なピースが存在します。それがチームで速い3人なのかもしれません。しかし、背景となるピース、端にあるピース、全てがあって初めて完成するのではないのでしょうか。

改めてトライアスロンはチームスポーツであると断言します。それが分かっているからこそ明治大学体同連トライアスロン部は誇りある最高のチームであるのです。

「On your mark」

我々は、また次のレースに向けて最高の準備をしている最中です。